

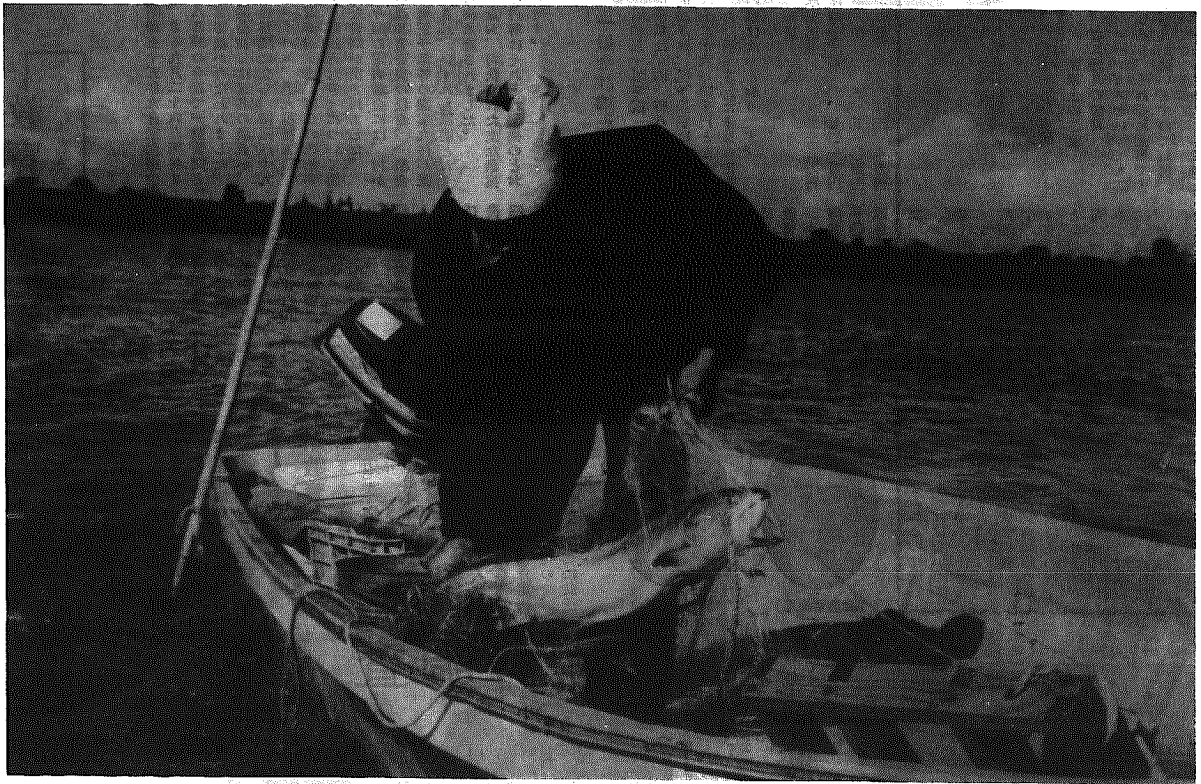


広報

# よこし

### おもな内容

1. あなたです (1P)  
火事を出すのも、防ぐのも
2. 9月定例議会 (2P)
3. 藤山会館が完成 (2P)
4. 村民運動会沢海地区が優勝 (3P)
5. 特産の栗大被害 (3P)
6. あなたは健康に (4P)  
自信がありますか
7. 芸能祭に老人クラブを招待 (4P)



特産シリーズ 阿賀のサケ

## あなたです〇〇〇 「火事」を出すのも、防ぐのも

### 秋季全国火災予防運動

11月26日～12月2日

寒くなり木枯が吹く季節がやってきました。今秋の冬場の長期天候予報によると昨年よりいくぶん寒さがきびしいといわれていますが、みなさんの家庭では暖房器具の点検はお済みですか。一年のうちでもっとも火災の多い季節がこの暖房器具を使う十一月から三月までです。その中でも石油ストーブによる火災がもっとも多くその取り扱い方法には十分注意が必要で、昨年の全国火災統計をみますと、出火件数が六三、八〇五件で前年に比べ六、六一八件(九・四%)の減少となった反面、火災による死者は二、〇七二人と前年に比べ二、二八八人(一一・八%)の増加となっています。この死者の状況を見ますと、一般住宅及び共同住宅等の建物火災によるものが、四五四人(全体の七〇%)と依然として多くなっています。この防止対策の徹底を図ることから、この秋の火災予防運動の目標が従来防止対策となつていきます。

火災による財産消滅も大変なことですが、それ以上に尊い命を失ふことは大変なことです。この火災予防運動中にいま一度みんなのこと事を考えたいものです。

#### ◎身体不自由者や寝たきり老人のいる家庭

火災が発生した場合、異状で避難できない、身体不自由者や寝たきり老人……この人達への対策を十分考える必要がありますが、就寝場所等は出入口に近い所をえらび避難できやすいようにしておきましょう。

#### ◎一番多い石油ストーブの火災

火災原因の中で一番多いのが石油ストーブです。この取り扱い方については次の点に十分注意してください。  
ストーブの火を消さずに給油し、こぼれた石油に引火する。出入口など人のよく通る場所へ置いて、転倒させる。又冬場に多いのが洗濯物をストーブの回りやその上に乾かし、それに引火し、火災にすることが特に多いようです。それに火災とは直接関係ありませんが、乳児や児童のいる家庭ではストーブによる火傷も多くなっています。ストーブの回りにガードをするなど十分な心掛けをして下さい。

### 広報よこし

#### 創刊一〇〇号なる

現在の広報よこしが発行されてからこの十一月号でちょうど一〇〇号になりました。

この間、行政のいろいろな出来事を村民の皆様にお伝えしながら行政と村民とのパイプ役となつてまいりましたが、皆さんのお宅では、この広報をどのようにご利用をされてでしょうか、村ではこれらを知ると同時に、これからの

行政広報、広報のありかたを村民の皆様と一体となつて考えたいと、この一〇〇号を記念し、特発号を企画する中で、村民の皆様からのご意見、ご要望をいただきました。今後より一層、村民の皆様と親しまれる広報を発行して行きたいと考えておりますので皆様のご協力をお願いします。



秋風寒、正に  
秋の夜長を正に  
東海の花、誰を  
か待たんと欲する  
これは、秋風に  
吹くゆく木々の葉  
を見ては、ま  
さを感ずる。秋  
り残っている葉は、いつた  
い離れ待っているのだろうか  
たものである。今年の夏は冷  
夏であつて、田にある茶山子  
に、着物をもう一枚着せてや  
り度い様な夏であつた。その  
茶山子も取り除かれ、種もす  
っかり刈り取られた田を見る  
と、淋しさをかくし切れず一  
人センチに落ち入る。そして  
虫の音も聞えなくなり、雨の  
降る夜など、旧友の寒、遠  
の知人の事などに思いをめぐ  
らし、移り変りの激しい時代  
にあれば、なるほど、  
父無くんば何をか憎まん  
母無くんば何をか憎まん  
と云う心境になり、何ぞにな  
つても子にとって父母は何も  
のにも代りたれないわ、  
絶対のよりどころであり、頼  
みであると感じる秋、いつま  
でもこのようであつてはいい  
ない。やはり、芸術の秋、ス  
ポーツの秋、読書の秋、等と  
云われるように、この秋の夜  
を何かに費いやしたらうと思  
ふ。多忙でとか、疲れてとか、  
云う人の気持も分らない訳で  
もないし、時としてセンチな  
秋にひたる事も悪くはない。分  
秋の夜長をせめて一日数十分  
間の時間を作る事によって興  
味もわき、おもしろさもある  
のではないだろうか。そして  
俳句、マサバレー、ヨー  
ラス、読書、英会話、等のサ  
イクルへ仲間入りしたらどう  
だろうか。生きがある生活を  
する為には、自分の意志で自  
由に勉強を続け時代の要望に  
おくれぬ努力をする事では  
ないでしょうか。

(山崎)